Sr. Seishu Gijuku
R. Galvão Bueno 85

NAMBEI SHIMPO

（一）　第四十二號　　　　昭和五年十一月六日（木曜日）

南米新報

Director e Redactor
Nanshu Sakaida
Travessa Grass 14—A
(R. Asdrubal Nascimento)
Caixa Postal 1243
Tel. 2-4606
São Paulo Brasil

Assignatura
Por Anno 30$000
Por semestre 16$000
Por mez 02$800

## 言論

# 大なるかな革まるの時

革命勃發以來　二十日間の陰鬱な重くるしい氣分は　遂に破れて巷間に響きわたるヴイーバ〜の歡呼は　如何にも晴れやかに洋々たる大共和國々運の前途を祝福するもの丶如くである

思ふに　いつの時代に於てもレボルソンと云ふものは一部の人間達が金力や權勢をかさに被て　己れの特權を主張し民意を壓倒する所に勃發して居る　有史以來國家社會の革命維新の多くが殆んど夫れである　是を易には天地革而四時成　湯武革命順乎天　之時大矣哉　と即ちレボルソンが天道に順つて人倫に應ずるものとするならば　恐らく何人の胸中にもこの氣運の潜まぬ者とては無いであらう

□

遽しくも　走馬燈の如く我が眼前に展開された其等レボルソンの種々相につき　今靜觀の瞳を送るとき　われらが今次の革命に依つて教えられたることは　我が在伯邦人社會にもレボルソンの必要が切迫してゐると云ふことだ　我在伯同胞の發展と平和のために又日伯兩國民親善のためにも是非レボルソンが起きなくてはならぬ　大なるかな革まるの時は來た

一邦人社會の寄生虫同胞社會の平和を攪亂する非國民　內外人の間に介在して要らざるオセツカイをして詰らぬ事に問題を製造したがる賣國奴的人物等を斷然一掃する事

二だん体の美名に隱れて勝手放題なマネをする陰數的人物或はそれをさせる黑子的人物に大鉄槌を下し

同時にこんなものが大きな顔をしてノサバル事は其だん体の爲めにも宣ろしくないと承知しながら　之を默殺し又は公保する社會の無氣力を戒め革めさせる事

以上は一々例を擧げなくとも實例は我等の鼻先きにいくらでもぶら下つてゐる　蓋し此革命の爲にも亦ジョアンペソアやゼツリオ氏の如き犠牲的人物が奮起し一大廓清を斷行しなくては駄目だ　大なるかな革まるの時

---

# 革命に成功せる民主黨のモツトー

## 更生政治の一端を語る

前サンパウロ警察の忌諱に觸れ　終に發賣禁止を喰つた本紙四十號の論説ほん譯を携へて去月廿八日新警察署に出頭し出版物檢えつ係長デレガード　ドツトール　レベン　バンプレー氏に面會を求め　再けんえつを願ひたる所　同氏は我が社の公明正大なる行爲を了として大いに打ちとけ　日本人の長所美點などを語りながら　あの騒々しい戒嚴令下に於て　よくもこれ程の論文を大膽に掲載したものだ　成るほどこれなら發賣を禁止されるのも無理はないと高らかに笑つて次の如く語る

『我が國では從來政治に携つてきた爲政者の間に　民衆に對する理解が缺けてゐた爲に　選擧された政治家は何れも自己の利益にのみ汲々としてブラジルの發展　民衆のための政治の實績は毫も上らなかつた

今回の政爭　即ち革命も決して軍人が勝手に武力を以て武斷政治を行なふために起されたものではない　ブラジル人の衷心から湧き出でた愛國の精神が今日これ程全國的に歡迎される立派な革命を成就せしめたのである

開闢以來これ程大きな國民運動は曾てあつた例はない　ゼツーリオ　ヴアルガス氏がブラジルの新しき政治家　民衆の政治家としてどれだけ國民の信望を荷つてゐるか　共和黨の本部であるパウリスタに於てさえか程に歡迎された事實が良く裏書してゐる

目下は戒嚴令下にあるから一切の政治は軍人により行はれてゐるが　共和國の武斷政治はよくないと思はれるだらうが　これは只公安維持のため臨ぢで出現した政府で　決してこの武斷政治を長く續けるものではない

やがて全國的に平靜に復せば軍人は軍人の職に　政治家は政治家の職にそれ〜專門の立ち場に歸ることは申すまでもない

我が民主黨の政治は從來やりきたつた政治を改革し刷新するものである

言論の自由なども充分に認め　何んな主義　何んな思想を持つにしてもそれは各個人の勝手だ

只その行爲が社會の秩序を紊す樣な場合には　斷乎たる處置を取る積りである

貴紙の論説は正直な見方で今後益々正義のために活動して下さい　余は貴紙を通じて

『我がブラジルが革命によつて更生した事　國民のための新しい政治が斷行されるときのきたことを在伯貴國民と共に喜ぶと共に各自が安心してブラジル產業開發のため盡力されんことを希望します』

---

# 全市民の大歡迎裡に

## 意氣揚々と勇姿を現はす

# 革命軍總指揮官

## ゼエツーリオ・ヴアルガス氏

革命軍の戰勝に朗かな日を迎へた去月廿九日　革命軍總指揮官にして新伯國大統領たるべきゼエツーリオ・ヴアルガス氏の着聖時間『午後八時』が逸ち早く新聞に報ぜられるや　全市民は吾れ先きに偉人を迎へんと午後六時には　はやくも市の中心地は群衆にて滿たされ人波はソロカバナ驛に向つて徐々と移動して行く　一隊また一隊ガウシヨを取り卷き狂喜せるデモクラツトの示威行列は伯國々旗や民主黨々旗を先頭に押し立てヴイバアーブラジルを連呼して歩きプラサ　ジョアンペソア（舊プラサ　パトリアカ）に於ては故ジョアン　ペソア氏を弔ふ哀悼の弔歌が合唱され　ヴイバー　ブラジル　ヴイバーレボルシヨオナリオが絶え間なく　高らかに叫ばれて自由の空氣は天に漲り　八時にはソロカバナ驛よりカンポス　エリセオスに至る道筋は夥しき人出で大混雜を呈し　歡迎人無慮十數万と算せられ人々の口をふさいで奔り出る革命軍萬歲の威聲は全市を壓す

午後十時四十二分質素な軍服姿のゼエツリオ　ヴアルガス氏は多數の出迎人に迎へられて意氣揚々とソロカバナ驛頭に勇姿を現はすや　壯嚴なる軍樂隊の奏樂につれて渦まく群衆の大歡呼は聖市の深夜に轟きケレーモスゼエツーリオ〜〜の聲は喜ばしく發せられ民衆は熱狂して迎へた　このとき盛裝の州警兵隊と警察騎馬隊が先驅を務めて　叢る群衆を押分け押し分け道を開いて動き出せば　續いて十數人の儀仗隊に警護せられてゼエツーリオ氏を乘せた自動車は　驛前に鑿然として居並捧げ銃の歩兵隊の中を人波に揉まれながら　徐々として進む　ルア　デウツケ　デ　カシアスに於ては他の騎兵隊が一行を待つて一段と盛況を增し　クレベランド街よりバロン　デ　リメイラ街に至る公道は全く立錐の地なきまでに人垣を以て築かれ歩道に溢れた人々は　並樹　電柱　塀に攀じ登り　見渡す限り人々に埋められてゐる　就中　サンタ　エフイゼニヤ辻とグワアヤナゼスの廣場は無數の群衆が狂喜して臨時大統領を歡迎し　一行が市の中央に近づくに從ひ　待ちあぐねてゐた群衆は車の後より押しかける群衆と合して　ラルゴ　パイサンデユからプラサ　パトリアカにかけては文字通り雲霞の叢る如く　革命軍萬歲の大歡呼は遠く深夜にこだまし　われるばかりの拍手かつ采の音は煌々と照る街燈の光を振動さす　車は辛じて群衆の間を拔けて進み　ルア　デイレイタ　ルア　キンゼ、ヴイアヅウト　デ　サンタエフイジエニヤを通り拔けて　カンポス　エリセオスに向つて前進す、かくてカンポス　エリセオス宮殿に於てはゼエツリオ氏は臨ぢ政府の閣員連を初め、多數著名の人々によつてむかへられ一時漸くにして安着した

去りもやらぬ群衆は深夜に至るまでかつ采を續けて止まず　平和の喜びに狂喜せるこの大歡げいは新政治の幸先きを思はしめ自由の國旗は高く夜風に靡いてゐた

【寫眞はゼツリオ氏】

---

# 大アマゾン旅日記

## 上塚司調査隊一行

篠田吞海

▼第五信

九月十日マラニヨン州都サンルイスを午前九時發　北緯二度より一度あたりを西へ〜と進む一風浪なけれども船はシンガポールあたりの氣候より凌ぎ易いとは想像以外である

船中一つの慰安とてはなく　大本營を離るゝ遠き隔離部屋では賣店の設備もなく其の他すべての點で惠まるゝ事の少ないのは當然のことだが世の中はすべて金の世とはいへ十日間の船中生活で金の有難みを現實に味ふとが出來た　一行は元氣旺盛　既に大アマゾンを吞むの概がある

十一日午前六時頃より船はパラ河に這入つてゐる　河口の廣いこと數百キロ　彼岸まで三日を要すると　流域には大小無數の無人の島嶼あり　一般に殆んど水面と同じ程度の高さで巨木は皆目視界に入らざるも　熱帶特有の黑々とした一望の大森林が河に蔭影を寫してゐるのは正に大陸氣分を味ふに充分である

午後一時首府ベレン岸壁に船は横付けとなる　野田良治氏　前田榮世氏（柔道五段の猛者　市の體育協會長）上木南拓支店長其他五六人の出むかへを受け　市第一のグランドホテルには參謀本部員　他は十四日出帆まで南拓の收容所を一時の假りの宿と定むることになつた

市は北伯殊にパラ　アマゾン兩州の咽喉部に位し　北米歐洲よりの直行航ろにもあたつて居るので市況は活潑なれども　政府首腦者に其の人を得なかつた爲か繁榮の程度は遲々たるものである

主要輸出品としてはゴム　カ、オ　栗　煙草などあり米ラード（アスカル　八、九ミルセパ　一等品）野菜物の高きこと四十五、六ミル（第これまで見た他州に其比を見ない

市には有名な博物館　植物園等あり　又天下の視聽を一所に集めて居る問題の福原八郎氏をしや長とする南米拓殖會しやあれども　共にこれを觀るのぢ間の餘裕を有せず　然したま〜この會しやに直接間接關係ある責任者の談を聞くの機會を得て大いに參考の資料とする所があつた

聖市にては移住組合や海興あたりを引き出して　共營事業の無定見無能をコキ下してゐるが　創業以來こゝに二年の齡を持つ南拓が　入植者に未だカ、オ一本も植え付けさせず　日本の小作農と同じく年々僅かの米作でお茶を濁してゐる慘しめさ（一町歩より十五俵から二十俵位の生產）植民は何に依つて食つて行けるか　日本の小百姓より以上の慘憺たる生活をしてゐる

それ故　植民者と會社の軋轢は絶ゆるときもなく　少し血の氣があつて眼前が見え且つ植民者に同情を持つ幹部連中は常にしや長と衝突し　遠慮なく日本へ引き揚げて歸國するので　葡語に通曉せる幹部は少なく　新輸入の啞盲者の如き者によつて指導されるのぞ　能率の上る筈はない　悪く評へば會しやは瀕死の狀態に陷つてゐる

折角遠く日本を離れてアマゾン三界まで政府のお聲がゝりで乘り出してきてゐる會しやだから　この際官僚趣味を除外した適人をむかへて　根本的の大改革は目下の急務である

諺が横道に這入つたが　本道に戻り　愈々十四日目的の大アマゾン河の河口より鰐を追ひつゝ遡航する　ときしも降りきたるアマゾン特有の大シヤワー（俄か雨）に遭ふ　三十分ばかりしてやう〜止み　雨後の冷味は千金に價し　熱帶にきたものゝ外味ひを知るとが出きない

船は徐々として目的地指して進行する

---

# 正式に決定した聖州政府閣員顏振れ

十月三十日付を以て臨時聯邦大統領ジエツリオヴアルガス氏は正式に左の如く閣員を任命した

大藏　ジョゼーマリア、ウイタケル氏
內務　ジョゼーカルロス、デマセド、ソアレス氏
司法　プリニオ、バレツト氏
交通　フランシスコ、パーヘス、レーメデモンレヴアーデ氏
農務　エンリツケ、デ、ソウザ、ケイロース氏
警務總監　ビセンテ、ラオ氏
サンパウロ市長　カルドーゾ、デ、メーロネツト氏

然して大藏長官ジョゼーマリア、ウイタケール氏は州統領事務取扱ひとして政治上一切の支配をする事となり　軍務及び警察部の一切の指揮にはジョアン、アルベルト、リンス、デ、バーロ氏が任じられた

---

# 國民は現政府を絕對に信賴せよ

## ゼツーリオ・ヴアルガス大統領

# 一時獨裁政治を行はん

【卅一日リオ發】リンドルフオ　コロール氏は新聞記者だんにぢ局に就て次の如く語つた

ゼエツーリオ　ヴアルガス大統領は着京早々政權を受け繼ぎ　多數名士と會見してぢ局に就き協議を重ねてゐるが　前國會は解散されゼツリオ大統領の臨ぢ獨裁政治が行はれるであらう

現政府は革命直前の政局を國民に公表し　民權擁護のため革命の手段にでるの外なかつた事情を發表する必要がある

リオグランデの偉大なせい治家ゼエツリオ大統領は前せい府により大統領選擧の權利を剝奪された即ち人民は武裝して革命を以て勝利を確認したのである

ゼエツリオ大統領は國民せい府に就て國民全体の潑剌たる進展を祝福してゐる

前せい府の瞞着政治は國民を欺くの外何ものでもなく　國家改革は目下の急務である

獨裁と云ふ言葉は一人の政治であらねばならぬ　個人的にもだん体的にもゼエツリオ大統領に與へたる特權を妨げてはならぬ

今や市民は自由を獲得し不名譽な法律から解放され名譽ある法律を制定する事ができる

外國々民に對して現政府は既に知られてゐる如く　革命當ぢ前政府に依つてなされたる以外の國際條約を尊重すると共に今後益々親善にならん事を努力する

ゼエツリオ大統領は近く施政方針に就て聲名し　國家の根本方針を決定して公表するであらう　目下の場合私としてはこれ以上語る事を欲しない』と

---

# 前政府に叛逆のタボーラ大尉

## 凱旋將軍として堂々入京

【リオ一日發】一九二二年のコツパカバナ要塞の叛逆に加はり、次いで一九二四年イジドロ將軍の指揮せるサンパウロ革命には一方の參謀となりて活躍し

大いに聲名を馳せたジュアレス　タボーラ大尉は本年一月其の筋の手に捕へられてサンタ　クルス要塞內の監獄に監禁されてゐたが　二月廿八日部下を率きつれ脫獄して行衞をくらました事は既報の如くであるが　去月三日革命突發するや　同大尉は革命軍に推されて將軍となりエスピリツト　サント州　バイヤ州その他北伯一帶の革命軍總司令官として採配を振つてゐたが

革命成就するや　全月廿八日　リオ市民の大歡げい裡に凱旋將軍の意氣揚々として入京し直ちに臨ぢ政府の閣員並に革めい參加の諸名士と會見、新せい府に對して希望するメンサージエンを發表した

これに對してゼエツリオ　ヴアルガス氏はタボーラ將軍の北伯に於ける今次の活動に對して謝意を表した

---

# 新大統領

## リオ市に向け

# 出發

ゼエツリオ　ヴアルガス大統領は僅か廿四時間の聖市滯在中　カンポス　デ　エリセウス宮殿に於て臨ぢ府政の閣員連並に新政府建設に盡力せし革命軍の諸將と共に　伯國政治革改に就て熟議し　席の温まる暇もなく　重大事項に關して適宜の決議をなして三十日九時五十分　多數の市民に送られ歡呼裡にルス驛をしゆつ發大統領列車にてリオ市に向つた

---

## カテ、宮殿で

## 愈々政治改革に

# 着手

【一日リオ發】昨卅一日午前九時卅分ゼエツリオ大統領は五十萬の大衆にむかへられて中央驛に到着　沿道大歡げい裡にカテ、宮殿に入る

全宮殿に於ては聯邦せい府の閣員連の祝辭を受け　タツソ　フラゴーゾ將軍を初めオスワルド　アランニヤ將軍フロレスダ　クンニヤ將軍など革命軍の諸ぎよう將と共に時局に就て、速に根本方針を決定すべく協議を遂げ　大統領は人民の懇望により　バルコン立ちいで

陸海軍万歲ー・

共和國萬歲ー・

と呼びかけ　大衆は狂喜して自由の叫びは天地を轟し　新せい府に對する國民の信賴は　いよ〜確証された

---

## ブラジル銀行へ

## 紙幣の發行を

# 禁止

臨時政府はブラジル銀行に對して紙幣の發行中止を命じた　該銀行は前政府のため戰時費として三十万コントスの不換紙幣の發行を餘儀なくされ既に三分の一は發行濟みにて整理の必要上一時中止を命じたもので、十万コントスの債權募集事法令も新政府は撤回の意向を有してゐるから實現困難と見られてゐる

---

CASA TOZAN
MIZUKAMI & CIA.
COMMISARIOS
Rua Cidade de Toledo, 25 ══ Caixa Postal, 911
Telephone, 2837 ══ Endereço Telegraphico "TOZAN"
SANTOS

サントス市
珈琲コミサリオ
カーザ東山
ミヅカミ イ コムパニヤ
郵函　九一一號
電話　セントラル　二八三七號
電信略號　TOZAN
▲弊店取引方法はお照會次第ご回報申上候

Dr. H.Saito
BAURÚ
MEDICO
醫學士
齊藤等
バウルー　インコンフイデンシア街　六一三五

Prof,Dr,Mìroslau
BAURÚ
Beneficencia Portugueza
內科　博士ミロスラウ　外科
バウルー
ベネフイセンシア　ポルトゲーザ

Dr. K.Daian
MEDICO
ARAÇATUBA
大庵喜八
アラサツーバ【大原商店隣】

BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD.
(THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD.)
RUA DA CANDELARIA NO. 23
CAIXA POSTAL, 380-RIO DE JANEIRO
切り取りて手紙の表にはられたし

郷里送金
一、御送金の伯貨は當店にて受取たる當日の爲替相場にて日本金に換算可仕候
二、日本內地郵便爲替料、書留料共他總て當店にて負擔致し即ち全く無手數料にて御郷里の受取人へ送り届け申上候
三、金子は現金封入、郵便爲替又は銀行小切手にて當店へ御送り被下度猶横濱正金銀行勘定として Banco Commercial do Estado de São Paulo 又は御便宜の方は Banco Noroeste do Estado de São Paulo へ御拂込被下候ても差支無之候
四、何れにしても送金申込書は必ず忘れず當店へ御送り下されたく候

預金
日本貨定期預金利息　六ケ月以上年四分五厘
伯貨定期預金利息（六ケ月以上年四分五厘　二ケ年以上年五分）
伯貨當座預金（小口）年四分
▲預送金用紙は御請求次第直に御送り可致御不審の點は御遠慮なく御問合被下度候
▲預金通帳は書留郵便にて御送付可申上候間御申込の際最寄郵便局御指定相成り候はゞ御便宜に有之候

リオ。デ。ジヤネイロ
横濱正金銀行支店

CASA TOZAN
Commissario de Café em Santos
REPRESENTANTE GERAL DE NOROESTE
S. Masaki
Promissão L. Noroeste

謹告
各位益々ご多祥之段奉賀候
陳者小生今般サントス唯一の邦人コミツサリオ
カーザ東山
ノロエステ線總代理を引受け珈琲の委托販賣金融等一切の御商談に應じ申候間左記各位に代理店指定仕り候に付ご便宜ご用命被下度候　敬具
プロミツソン　間崎三三一
各地代理店
リンス　森部一衛
上塚第二殖民地　羽高權藏
グワイサラ　佐藤由
ペンナ　田中龍介
グワランタン　村上茂人
バウルー　芳賀仁吉
アラサツーバ　藤田實

# 共和國大統領就任式と新政府の政治改革方針

## タツソ・フラゴーゾ將軍前政府を非難す

## ゼツリオ大統領の施政演説

ブラジル共和國大統領就任の本月三日　廣いカテヽ宮殿は任命されたる聯立內閣々員連を首めとしてアドルフオ　ベルガミニ市長　警視總監　文武顧官　並に民間を代表する商工業だん体の代表者などに依て　滿され式はいとも嚴肅に革命の名に相應しく壯嚴に行はれた　午後四時ゼツリオ大統領は沈着なる態度で割れるばかりの拍手かつ采に迎へられて貴賓室に入る　タツソ　フラゴーゾ將軍起ちて　靜かなる句調で祝辭を述べる　絶え間なき拍手は堂內に響き　將軍の力ある聲は　ワシントン前政府が如何に國民を壓制したかを痛切に攻撃し　陸軍はこの度の如き全國民の大運動に反對する武器は持たないと結んで　聽衆を感動せしめた

### 新共和國を設建せよと全國民は悉く武裝した

### 斯くして革命の目的を達す

次にゼエツリオ新大統領は左の如き演説をなした

「紳士諸君！●

革命運動は十月三日　南中央　北と言はず全國に意氣高らかに始められました

今日迄の國民の熱誠なる支持により　我々の存立は確証されてゐます

今回の如き國民運動は我が共和國有史以來の出來事であります

即ちそれは　國民を顧みず專政を恣にしたところの最高指導者最高權力者に對しての潑剌と元氣旺盛なるブラジル國民の意思の發露に外ならぬのであります

それ故に　革命は　實質的にも外形的にも特權階級に對して勃發した

誰れも彼れも一樣に武器を持つて起ち　誰一人として　その運動を理解しないものはなかつたのであります

上下を問はず　老若男女の差別なく

胸襟を披いて　新共和國の建設――てふ同じ目的を抱いて　國民擧つて運動に參加したのであります

南リオ　グランデはイタラレーに向つて州境に迫り軍隊の過半は貴君方と共に前進しました

數日後にはあらゆる都市に於てこの感動すべき熱情溢るゝだん結せる軍隊は歡呼を以て迎へられ　それ故に輝かしい國民運動は實行されたのであります

これは我々の大いに滿足とし　光榮の至りであります

そしてこの非難すべからざる集合が伯國革命の最高目的を成就させたのであります

當リオ市に於て軍隊と人民が聯邦政府を陷し入れた時には　革命運動は既に　實際上成功してゐました

全國到る方面より武裝せる人民は援助し　二三週間は聯邦政府の軍隊と勇ましく戰ひました

避く可からざる進軍の決着を豫知する事は左程困難ではありませんでした自由軍の近づくに從つて誰一人疑ふ者もなく革命を謳歌するリオ市民は今は早や瀕死の狀態に動搖する所の權力を打ちひしぐ爲　最後の圍繞地に蹶起しました

然しながら臨終の苦痛に悶え乍らも政府は政權に粘着し　同胞殺の戰鬪を叫んで我等の弱き友人に命じて犧牲を企てた事は　政權に未練なる前政府の取りさうな行爲であります

聯立內閣々員諸君よ！●

デリケートなる現狀を理解せられて　果敢なる諸君の愛國的贊助を得て　前政府がなしたる過失を改めたいと思ひます

我等が誠熱を以て終始するならば必ず國民は我々に信賴し　國家に禍する貴き生命の犧牲　富の消失を來たすところも革命の災害より永久に逃れ　斯る立派な都市を大損害から保護する事が出來るでありませう

聯立內閣々員諸君が　斯樣なる事件を起す原因を作らぬと宣言する事は正しいことであります　革命に際して協力したる卓絶せる諸君の意思は全く心强く感ぜられます

諸君は溢るゝばかりの愛國精神を發揚し　ブラジル國民の自由を取り戻し　適法の美名に隱れて虛僞と謬迷をなす假面を剝ぎ取るためには革命が餘儀なきものと確信しました

そうして諸君は遂に　只今斯くの如く生き〱と　又國民の信望を荷ふ民衆的の統治に代へました

達成された勝利により廣く確認された今日　我々の履行しなければならぬ再建作業に就て熟考しなければならぬ

克く國民の期待を裏切らず援助と協力を得て　國民から信賴されたる使命を果たさなければならぬ

これは我等の義務であります　我等は何事に對しても不必要なる壓迫はなさず決定方針に忠實であるべく勇氣を持つて居る者であります

（中略）

我々は過去の誤れる失政を改革し官僚的偏見を廢止して人權を尊重し　國民と共に協力して國家再建に努力するものであります

今茲に國家再建の行程に就ての我々の主眼とするところを約言します

### 各方面にわたる根本的一大改正

一　大赦

二　心身を强健にし　收賄行爲を全廢して　正當なる國家組織の建設

三　州と提携して　正しき獎勵機關の設置により公民教育　就中　工業實業教育の敷衍　この目的を遂行するため衛生省と文部省を創設する事

四　新思潮を受け入れ　誠實にして卓絶せる見識を持つ識者を網羅して　諸問機關の設置

五　發行されたる金の用途に就て　政府並に關係屬省の責任を調査するため調査委員會の任命

六　國防上に必要なる範圍に於ける軍隊並に軍備の改正

七　選擧組織の改正　就中投票の保証

八　如何なる場合に於ても裁判官は選擧上の訴訟の裁判權を賦與されるべく司法の獨立の實現の爲　裁判法を改造する事

九　選擧の完全なる改正即ち　聯邦規則を改正するため　國民が代表者を選擇するに當つては　委任の權利を充分認めて國民の意思に一任し　公私の自由を保護して　中央政府の不法なる干涉に對する州の自治權の確立

十　煩雜なる立法を簡單にして行政法を鞏固にし官僚主義を排して　過剩吏員の淘汰を行ふ

十一　經濟的行政を遵奉し總ての無益なる不生產的冗費を削減し　就中　國家財政の回復に力を注いで豫算の均衡を圖る

十二　必要なるブラジル農業問題に適應するため現在行はれつゝあるところの効力なき設備の農務省を改造すると

十三　政治によつて產業を興し　我が國の輸出品の流出を容易ならしむるため　實質的の經濟政治を採用する事

十四　國產を獎勵するため租稅法を審查し保護貿易論を排して內國原料を利用せず　却つて　生活を膨張させ密輸入を獎勵する所の人爲工業を中止せしむ

十五　社會問題の取扱ひを目的とする勞働省を新設して　都市並に農村の勞働者を保護する事

十六　漸次に廣大なる土地所有權の消滅を圖り　小作人に對し　開墾土地を讓與して小所有權を保護し　以て自作農を獎勵す

十七　利害關係に拘泥せず必要に應じて全國にわたつて　鉄道及び國道の普及を計る事

以上の如く我等の爲すべき事は實に多く　此等は漸次我等の斷乎たる獻身的の努力によつて實現されるでありませう

（中略）

聯立內閣々員諸君よ

臨時共和國政府を援け革命代表者として　陸海軍並に國民の名に於て　國家に對して爲なければならぬ尊い職責を重んじて　貴君の勇敢なる行爲によつて　郷邦の高き理想に酬ゆるため努力せられん事を祈る

寫眞說明　（下）は前政府の御用紙コレオ　パウリスタノの燒打　（上）は前政府の提灯を持つたとて完全に燒打ちされた聖市ガゼツタ新聞社前に凱歌を揚げる群衆

### 新政府を承認

本月六日迄に新政府を承認したる諸國は左の如くである

ペルー　ボルトガル　イタリヤ　チリー　ボリビヤ　ウルガイ

櫻節　乾魚
三共商會

潮ホテル
USHIHO HOTEL
Rua Rangel Pestana, 44
Caixa Postal, 328
Tel. Central 1924
SANTOS　前田吉太郎

YONAMINE
農產物
賣買商
與那嶺仁五郎
ルア セナドル フェイジョ三三六
電話 セントラル 六三七
サントス

在ブラジル日本人同仁會

## 衛生相談部

此たび本會內に衛生相談部を新設し左記各項の衛生上の通信相談に應ずることになりました　個人なると團体なるとを問はず遠慮なく御利用下さい

左記

### 一　病氣並に保健上の凡ての相談

病狀はなるべく委しくお知らせ下さい　一般の參考となるものは質問者へ回答する外新聞紙上で發表します

### 二　土地開發に對する衛生上の相談

從來土地開發に際し大きな邪魔であつた風土病も本會の研究によつて僅かの注意と費用で豫防出來るやうになりました　新たに土地を購入し若しくは購入されんとする人は大体の地形面積等記入の上御質問下さい

### 三　住宅衛生に關する相談

在留邦人農家の住宅を見ると其かけた費用や勞力の割合に非衛生的なものが多い　住宅は一日の疲れを休める所　これをどうすれば衛生的に而して經濟的に建てられるかといふ相談

◆質問の文字は判り易く書き封筒の上に「衛生相談部」と記されたし

一九三〇年十月

在ブラジル日本人同仁會

DOJINKAI　CAIXA 2976　S.PAULO

サンパウロ案內

公認
建築
測量　技師　原田政平
ルア、バロン、デ、パラナピアカバ一番
九階　五室

最新流行型の御註文は
石井洋服店
コンデ街四三
電話　二－三六九〇

和洋御料理
鶴乃家
コンセレイロ、フルタード　四十三番

御料理
あをやぎ
コンデ坂上　三十三番

靜かで美味で安價な食堂
御宴會　御食事　御家族連
御食事（食券　三十回分五十ミル）
簡易食堂
コンデ街卅一番

◆洗濯と染物の御用は◆
横溝洗濯染物工場
聖市コンデ街　六二番

家具製造販賣
中山伴一郎
ルア　グリセリオ、一六二
電話　七－四四七〇

御菓子
ソルベツテ
和洋御菓子　洋酒各種
ボンボン　清涼飲料
バール・コンフエイタリア
ジヤポネーザ
プラサ・ジオアン・メンデス　五A

宅診……午後二時迄
往診……隨時
山田醫院
コンデ　デ　サルゼーダス　二〇番地
電話　二－二六八〇

…「寫眞說明」… 民衆の歡呼裡に堂々聖市へ乘込む
今次革命の大立物 現大統領ゼツリオ氏

# 南大河革命軍の一糸亂れざる機敏なる行動

リオ グランデに於ては既に三ケ月以前より革命の準備が着々と進められ 首府ポルトアレグレを初めペロタ、リオグランデ、カシヨエイラ、サンタ マリア、カシアス、リブラメント其の他の諸市とも連絡を取り 秘密裡に一切の軍事作業が進められてゐたのであつた

早くも處々で革命烽起の噂が傳へられ聯邦軍指令官ギール デ アルメイダ將軍は時局の推移に細心の注意を拂ひ 何時にても直ちに動員の出來るやう萬事に警戒を嚴重にしてゐたが 九月に入つて革命の噂も無くなり 一時市氏の頭にも忘れられてゐたところ十月に入るや俄然空氣は險悪となり リオ グランデの政治家は一齊にワ大統領を攻撃し 新聞は旺んに革命を書き立てた

ひいて十月三日旅だん司令部内に於てフロレス ダ クンニヤ、オスワルド アランニヤ、フエイオの諸將は

秘密會合を開き 革命蜂起を申し合せ 先づ着手の第一步として 警官隊を武装せしめて師だん司令部を襲撃せしめることに決定した

午後五時十五分 フロレス ダ クンニヤ及びオスワルド アランニヤの兩將に指揮された一隊は革命の旗上げの號砲と共に一氣に師だんを攻撃して占領 ギール デ アルメイダ將軍を捕虜にした

メニーノ デウス丘上にある歩兵第三聯隊 騎兵第四中隊 第四追撃隊 第九大隊は同時に革命軍に降服

僅かにアルゴーロ フエロン大尉の率ゆる二十人許りの部隊が勇敢に應戰したが これも間もなく全滅した

カルタ ゼエラールも六名の革命軍に依りて難なく占領され

追撃隊第七大隊はベネヂツト大佐これを指揮して抵抗を試み 頑强に戰つたが 大隊內に革命に贊同する者續出したゝめ 大混亂に陷り激戰數刻に及び 革命軍は水道電線を切斷して漸く降服せしめた

コルセウイルス大尉の率ゆる第二中隊と革命軍の衝突は双方とも多數の負傷者を出したが遂に降服した

續いて州下院議員マウリシオ カルドーゾ氏の指揮する革命軍の一隊は電信局郵便局を襲撃して占領する一方別隊は稅關及び稅務局を占領した マウリシオ カルドーゾ氏の一隊は更にブラジル銀行に進み 頭取カルロス デ カルヴアリヨ氏を捕へて金庫の鍵を奪つた

電信代理店 アメリカーナや電話局も革命軍の手に歸し マリオ ダ モツタ氏指揮の一隊二百余名は港內の船舶を悉く占領した

聯邦政府派遣の軍隊は續々革命軍に降り 翌未明にはポルト アレグレ市は完全に革命軍に占領された

全市民は歡呼してこれを迎へ 廿四時間後にはゴーエス モンテイロ將軍のしよう集に應じて 三万二千の軍隊は革命軍に參加し 南リオグランデは完全にだん結してゐた

參謀本部の計畫通り 軍隊は漸次サンタ カタリーナ方面に進軍を開始し 州內の列車は全部軍隊輸送に從事した

十五六才の生徒までがリオグランデのために將又母國の爲義勇兵となりて銃を取り出征する勇ましき姿に 全州民は一やうに戰勝を祈りつゝ大歡呼裡に之を見送つた

數日の後には武裝せる五万の兵はサンタ カタリーナ州境に迫り 列車は軍隊輸送に忙しく 州內ではしよう集につぐしよう集市民は續々軍人となつて出兵斯くして民衆の政治を行ふべしと擧國一致 ゼツリオ ヴアルガス氏を總指揮官に推して意氣物凄く 連戰連勝數日を出でずしてサンタ カタリナ パラナ兩州を完全に參加せしめて軍を整へ一氣にサンパウロ州境に迫つたのである

## 聯邦政府全く成る
## 勞働省も新設されん

ゼエツリオ大統領は左の如く聯邦政府の閣員を任命 本月三日カテ、宮殿に於てそれ〴〵就任式を擧行し 玆に伯國政治改革に着手する聯邦政府が出現した

| | |
|---|---|
| 外務 | アフラニオ デ メーロ フランコ氏 |
| 交通 | ジユアレス タボーラ氏 |
| 農務 | アシス ブラジル氏 |
| 大藏 | ジヨゼー マリア ウイタケル氏 |
| 陸軍 | レイテ デ カストロ將軍 |
| 海軍 | イザイアス デ ノロニヤ提督 |
| 內務 | オスワルド アランニヤ氏 |
| 司法 | 全 |

此の外に新に勞働省が新設される模樣で リンドルフオ コロール氏がこの椅子に就くべく 尙從來の衞生局が獨立して一省を作り これにはベリザリオ ペンナ氏が就任の見込である

# 兩軍大會戰の危機一發
### イタラレー戰況

リオ グランデ革命軍パラナ國境イタラレーに迫るとの急報に接し サンパウロ州政府は急遽州警兵と 新に募集せし義勇兵とを共に動員してこの方面の防禦に全力を注ぎ

聯邦軍兵員總數三千二百名はパーエス アンドラーデ大佐指揮の下にイタラレー附近に陣營を敷いてゐた 一方之に對して革命軍側はミゲル コスタ將軍の引率する第一隊はリオ グランデ軍 サンタ カタリナ軍 合して總兵數八千人であつたが武器の點では聯邦軍の豐富なるに引き替へ非常に貧弱であつたが 司令官ミゲル コスタ將軍の戰略はフランスのフオシユ元帥をしのばしめその巧妙なることは實に

驚嘆すべき者であつた

共陣地を一瞥すればシルヴア ジユニオール、フロレス ダ クンニヤ、アレシニオ、バツチスタ ルザルド、の四軍に分ち 各部隊はイタラレーに向つて正面包圍の陣形を保ちながら前進し その內フロレス ダ クンニヤ軍は奉天攻撃の乃木軍と云つた形で 左翼を急速に迂回して敵の退ろを斷たんとして

既に一部隊はイタラレーの後方イビチー方面に進んでゐた

アレシニオ軍は敵の右翼を衝いてイタラレーに進み シルヴア ジユニオール、とバツチスタ ルザルドの兩軍は正面から三十六門の重砲を以て對峙し 全く戰鬪準備はなり

愈々廿五日正午を期し總攻撃に移る計畫をしてゐた

斯かる間に總司令部からはリオ グランデ下院議員ダリセリオ アルヴエス氏を派遣して政府軍總指揮官に宛てゝ左の如き書狀を贈つた

陸軍總司令官ゼエツリオ ヴアルガス大統領の名を以て左の通り通告致し候

リオ市に於てはワシントン政府は倒れ臨時政府が樹立され 全國民は我等の運動に贊意を表してゐる事は最早疑ひの餘地無之候へば 此際無意味なる同胞間の爭鬪を避け度く よつて本官は貴官に無條件で戰鬪中止を命じ 革命の保證を與へ 貴官指揮の下に我が軍と共に行動を一つにせん事を勸告致し候 併せて貴官の軍人精神並びに愛國精神により平和に噲合せん事を希望致し候

かくして使者は軍規に從つて政府軍の

司令部所在地イタラレーに乘り込み パエス デ アンドラデ司令官は紳士的態度にて迎へたのでアルヴエス氏は何等のわだかまりもなく持參の書狀を手渡した

アンドラーデ司令官は一室に退き幕僚と共に熟議の後 條件的平和を希望したるが 正午には戰鬪の火蓋が切つて落される手筈であるとて 危機の逼迫せることを告げ 全司令官も遂に單身ミゲル コスタ將軍と會見する事に決心し 直ちにアルヴエス氏と共にイタラレーを出た 軍隊及び市民は早くもこれを知つて「革命軍萬歲!・」を叫んで全市は狂喜せる群衆にて滿たされてゐた

アンドラーデ大佐は何等拘束されることなく革命軍の陣地を通過し ミゲル コスタ將軍と會見 午前十一時ゼエツリオ ヴアルガス氏の命令に服する事を聲名した

こゝに於て兩軍の大會戰は兩司令官の美しき態度により間一髮の所で流血の悲慘から免がれ 革命勃發以來小衝突を見たのみにて 大して犧牲者も出だす事なく 互に手を取り合つたのである

◆女小供に至る迄全州民を擧げて革命の血に躍る リオ グランデ スルの州民 騎馬軍勇ましく出陣

# 伯國革命を顧みて●●・

嚢にリオ グランデ スル州々統領ゼツリオ ヴアルガス氏が次期伯國大統領候補者として 共和黨候補者ジユリオ プレステス氏に對抗して自由聯盟派に推されて立候補するや 時の共和黨ワシントン政府の極端なる選擧干涉 非立憲的壓迫により 空しく破れた

この時よりリオ グランデ州民はワシントン政府を極度に嫌惡し 武力に訴へて不義不正に天誅を下す必要ありとの氣運全州に漲り 州政府は秘密裡に某國より武器を購入し 革命の準備は着々と進められた

時しも本年七月パライバ州々統領ジヨアン ペソア氏刺客の魔手に無慘なる最後を遂げるや 同州また蹶起し ミナス州と相通じて官民一致 ワシントン政府排斥運動を起し「我等は武器を以て起つ」と宣言した

斯くの如くジヨアン ペソア氏の死は革命の氣運を助長して形勢は刻々不穩となり 何時騷擾が勃發せんやも圖り知れざる狀態に ワシントン政府は彈壓に彈壓を加へ 辛じて政權を保持し ミゲル コスタ將軍などは危く捕縛される所を運よく逃れた程であつた

去月三日 愈々革命の機熟し ゼツリオ ヴアガスル氏先頭に起ちて烽火を上げるや 忽ちにして集れる義勇兵は五万に及び 男女年齡の差別なく 武器を取つて母國の爲に ワシントン政府の倒壞を誓ひ 女子の從軍志願者のみにても數千人に達し 中には男裝して名もルイス ロードリゲースと變名して申込み健氣にも從軍の榮譽を得た者もあり 上下を問はず全州一致して 中央政府を陷れんとの意氣天を突く有樣であつた

武器不足の州民は只一挺のピストル 一つのフアツカを腰に吊り下げたのみで戰地に馳せつけた この意氣 この熱誠こそ 今回の革命を成功に導いたものである

天正義を知り給ひしか 人民の願ひを聞き入れ 三週日を出でずしてワシントン政府は脆くも崩壞し新しくゼツリオ大統領は伯國々民の衆望を荷ひて 大統領の椅子に就き政治改革の第一步を踏み出す事となつた

民意を主眼とする民主黨の政治は共和國のその名に恥じず人民の期待に叛かずよく此の國を發展に導くであらう(リンドルフ コロール氏がリオ市民に對してなせる演說要旨)

## 飲酒は禁じてゐない

革命軍入聖と共に酒類發賣禁止の法令が出たので吞み助連閉口してゐる最中 リオ グランデ軍を滿載したサンパウロ行の列車の食堂で將校達が盛んにウヰスキーをあふつてゐたので 一從軍記者はこれは怪しからぬと抗議を申し込んだ所 將校連曰く「革命新政府は法令を以て酒類の販賣を禁じたが 飲酒は禁じてない」とこれを聞いた記者はロアングリ

## 二二年以降の革命家に對して
# 大赦令

【四日リオ發】ゼエツリオ大統領は本朝九時 國務大臣をカテ、宮殿にしよう集して目下の時局に就て熟議を重ねてゐるが 第一審議事項は革命家に對する大赦であつた 十一時 司法大臣オスワルド アランニヤ氏は 一九二二年より 今回の革命運動に連座して獄中に投ぜられてゐる總ての軍人並びに市民に對しての廣大なる大赦令に署名した

## 「カーザ ソルダード」

聖市に於てはキリスト青年聯盟發起となり『兵隊の家』を構へてガウシヨを優待してゐるが 昨四日 第二聯隊長イジドロ將軍は幕僚を從へて訪問し 軍人市民多數集りて盛大なる宴が催された

宴會に費されたる食糧其他はアルコールぬきの飲料水八、三〇〇コツプス サンドウヰツチ六、二四〇個 菓子八、八〇〇個 煙草一、四〇〇個

## 愛讀者各位へ

母國へ通信代りに送りたいと云ふ方のために特に本號に限り二百部ばかり餘分に印刷して置きましたから御入要の方は至急お申込あれ

南米新報社
營業部

CASAJAPONEZA
Hitoshi Hisatûgu
C.P140 AYANHANDAVA
內外雜貨日用品 洋酒その他一切
久次均
ノロエステ線 アバニアンダーバ驛 郵函一四〇

日本人間に有名なカーザホトチカは何時も種々なるカメラ用品を備え・新流行品が用意されてあります 繪入カタローゴを無代進呈
Casa Fotolica
Rua S.Bento.43

Fabrica de Macarrão "SOL"
K.ITO
Est. Araçatuba Linha Noroeste
朝日製麵所 伊藤嘉平治

A.S.Cia De Producto
Nippo-Brasileiros
Rua do Commercio No.2
Pinheiros Butantan S. Paulo Telephone 7—5858
雜貨食料品 各種農業用諸機械
農作用藥品類 馬具類 金物類
各種ノ肥料 特ニ馬鈴薯用肥料
本社 ピネイロス コンメルシオ街 二 電番 七—五八五八
株式會社 日伯物產
支店 プレシデンテ プルデンテ 郵函 三四八
日本品等ノ販賣農產物購入 產物保管預リ 委託販賣等ノ御用命ニ應ジマス

BAR
Kitice
バール キチセ
吉瀬軍平
リンス アベニーダ セツテンブロ 二番

ビクターレコード
ソプラノ獨唱、歌劇
ブッチーニ作曲、妹尾幸陽譯詩
蝶々夫人
晴れた日の
操に死ぬるは
三浦環
伴奏ビクター管絃樂

VE
"HIS MASTER'S VOICE"
VICTROLA
Orthophonic Recording
Orchestra
Blue Danube Waltz
(On the Beautiful Blue Danube)
(Strauss)
Philadelphia Symphony Orchestra
under the direction of
Leopold Stokowski
6584-A
Victor Talking Machine Co.
VE

限りなき 各曲の妙粹
微妙な柔らかい聲がよつれつ紛れつ響き渡るのを耳にしては本當に歌劇「蝶々夫人」を目前に見る心地がする。發聲法の熟練と巧妙とは實に驚嘆すべきもので女史をして世界的聲名を博せしめた所以である
今般ビクター蓄音器株式會社特約店として同社製品の卸、小賣部を設けました。何卒御引立を願ひます
瀬木商店 蓄音器部
SEGUI & CIA
São Paulo, Caixa Postal 1771

M.FUZIY
TEL.43 Promissão
農産物仲買
ウイペツト號自動車代理店
藤井正人

渡邊銃器店
聖市 イルマン シンプリシ
アナ一八 郵函 二三七三

# 童謡習作に於ける乏しき體驗から

プレジヨン第三小學校　原田二男

〔前承〕

上級生の方ではよほど作文力がついて來た樣であるし　文章をこなすといふ力が微かながら動いて來たやうに思へましたので　はじめの希望通り童謡習作に突進したものであります

その結果について私は非常な不安を以て　もしや小供を觀念の混亂に落しはしないかと思つてゐたのでしたが　私が別の意圖から教へてゐた唱歌が役立つて豫期以上の童謡を得て私はよろこびに雀躍したものであります

こうした童謡習作迄の經驗を詮じつめれば伯國兒童に童謡をつくらしむる事は全く厄介でなくなり　只用意のみが必要と私に斷定せられ上述の獨斷は理由のないものとなつてしまつたのであります

私の學校兒童の第一回童謡習作は『白いコーヒーの花』でありました

勿論一度は私が私の作を生徒によみ　後でその連想によつて作らしたもので　修學上全く私にまねてゐるものもありましたが　模倣は創造への第一歩である以上その當然さを首肯したものであります

今後こうした方面でもたゆまず　小さな努力をして行くつもりでゐますが　他校諸先輩も奮つて生徒作品佳作を紙上で御發表あつて　山奥深き所にある多くの友達の水先案内とならんことを希望して止まぬものであります

私は第一回の童謡習作にあまりな感動を受けたため　若し私と同じやうな危惧を持たれる方もあらんかとの老婆心から敢へて筆をそめた次第であります

私の學校もこうした點では全く末知數で漸くアルファーたる第一歩を得たといふのみにて今後その成行については時を待つて又發表して見たいと思つてゐます

一九三〇、九、三六

---

## 日記斷片

# 哀れなる朝

サンパウロ學院内　さい東

數日來の曇天晴れて今朝は日の光を見たり
空　春の朝のそれの如く柔かに薄靄き艶を成して所々白雲の鈍き眞珠色なるを漂はせり
陽　その蔭間より映して麗かに地上に注ぐ　恰も快き陽の雨を降らす如し
萬物は――街ろ樹も　辻の芝生も　家々の籬も　その紅き白き花も　家も　またその上に　ひろびろと披けたる天さえも思ふさまその濕りたる身を光りに浴するが如し
あゝ　此の麗かなる天地　仄白ろき光　光：：そは夢に見ん春の陽に露はなる森のニンフの白き肌への光――織やかなる感覺
見よ　天に　ちぎれたる雲間より　高く　高く黒き大鳥のゆるやかに大いなる輪を書きて舞ふを―●　あゝ　悠々たるかな　その姿　爽かなるかな
その歎び
されど　けふの日の我れ――如何にしけん　身も心も鈍りて胸に何等の靈感もなし
我が脚はたゞ肉体を支え
我が胸はたゞ冴えきらぬ意識を宿すのみ　知らず　自然は斯くも美はしきものを　人間の我れたる如何なれば斯くも心濁りたるを
あゝ　止みなん　止みなん
けふの日の我れ　そは此の莊麗なる天地の宴と招かれたる客人にはあらず　ましてやその席に歌ふ詩人にもあらず
我れはスゴ　スゴと此の盛大なる朝の宴を後にして我が塒にと引退れり

（サンパウロ市にて）

---

# 社中日記

社内　前田生

雨か嵐か　三日突如として勃發せし革命の烽火は　はしなくも全國的に擴がらんとする形勢を示し　聯邦政府必死の鎭壓も何等効を奏せず　暗雲頻りに低迷して人心兢々革命地との通信全く杜絶して不安この上なし　我が編輯部に於ても時局の重大なるに鑑み出來得る限り革命記事の集輯に力を注ぎ　一日も早く讀者に眞相を報ぜんと晝夜兼行努力し　検閲に引懸つて折角の苦心を水泡に歸することのないやう　つとめて記事を穩やかに取扱ひ　政府軍優勢の記事を掲げる反面に　時局の逼迫を思推せしめる記事を掲載して『形勢は如何に動きつゝあるか』に就ては讀者の推察に訴へる方針の下に文字の使ひ方にしても片言一句も疎にせず編輯して　十五日には印刷に廻すばかりになつてゐたのであつたが　検閲嚴重との報に接して　もう一度記事全面に亘つて注意することゝなり　その結果三面に差し入れてあつたゼェツリオ　ヴァルガス氏の寫眞を取り除ける外表題など二三書き替へて印刷に廻す事とした　以下十六日よりの社中日記を掲げる

□

十六日（木）晴れ後雨

早朝第四十號を印刷に廻した新聞は近頃になく素晴しい出來榮えだと思ふ

午後二時本紙を二部携へて中央警察署の検閲局に出頭

この時初めて警察内部のたゞならぬ情景を見てコレハなか／＼大變だと思ふ

検閲局では『時報紙』を見せられ　この通り飜譯を添へて提出せよと云はれて直ちに歸社　社の方では既に新聞が全部印刷せられ發送のため折疊んでゐる最中であつた

夕食後忙いで革命記事の飜譯に取りかゝり明朝でも提出することにしてゐたところ　七時頃　警察の方から二人づれで呼び出しが來た　話の結果九時迄に何うでも出頭しなければならぬことゝなり　大ザツパ乍らも何うかかうか時刻までには間に合せた

社説『政爭と革命』はとても間に合はぬので後刻提出する事として定刻九時に社長と共に出頭した

□

暫らく待たせられた後検閲部主任の部屋に導かれて大体左の如く訊問された

『革命記事に就て不穩な記事は書いてゐないか』

『別に變つた事は書いてありませぬ』

『宣ろしい　此の新聞を置いておきなさい　明日正午迄に電話で返事をする』

新聞に就てはこれだけで質問を打ち切つたが　この時

『騒擾に直面して在聖邦人の申合せ事項』（ハツキリ記憶なし）と書いてある小さいパンフレットを見せられ

『お前はこれを受け取つたか』と聞かれた

素より受け取るどころか此處で見るのが初めてだ

然も立派に飜譯を添へて提出してあるので何が何だか分らなくなり（十月十六日發行日伯社説參照）何だか狐につままれたやうだ　仕方がないから

『ノーン　エウ　ノン　レセービ　ナーダ』

と眞實の事を云つた

主任は只ソウカと云つたのみにてそのパンフレットを讀む暇も與へず引込めてしまつた

そして革命記事はなるべく差し控えて呉れとのことで別に小言もなく退出

外は小雨で寒い夜風が冷たく吹いてゐた

□

一先づカフェー　サンパウロに這入つてユックリ考へて見ると　今見せられたパンフレットは確かに時報の活字だ　黒石などの一派のカラクリか

本日發刊の日伯のスッパ抜き記事に血迷ふて　かゝる小刀細工をやつて知らぬ顔の半兵衛をきめ込まふとするのか

兎に角これは我々は默認する譯には行かぬと　雨の降る中を總領事官舎に中島總領事を訪れ　談合六時間（午後十時―午前四時）遂に中島總領事が何の關係もない事を知つて　一先づ引き揚げる事として末だ明けやらぬ雨の街をやゝもすれば瞼と瞼がヒツツキそうになるのをやつと我慢して歸る

（この時は末だ警察當局の検閲もさう嚴しいものではないと思つてゐた　そして我々としては伯國の政爭に何等のインテレッセがないので別に小言を言はれる記事は全然書いてゐないと信じてゐたので　明日は發行出來るだらうと思ふてゐた　そしてパンフレットの問題に就ては憤慨したものゝハツキリ事件が分つてゐなかつたので全く黒石の小刀細工かなと思つてゐた）

□

十七日（金）曇後小雨

晝頃迄には電話で（検閲の結果を）知らせると（検閲部主任が）言つてゐたが何うしたものか電話は掛つて來ぬ

社では不安に思ひつゝも着々發送の準備を整へてゐる　その結果を一時も早く知らなければならぬので正午社長と共に警察に出頭

検ゑつ室の隣りのサーラに通されて待つこと久し　係員は末だ來てゐないらしい　昨日通常服で社長を呼びに來た体の馬鹿にデッカイ　然し大變愛嬌のある親日家も今日は電服をつけて忙しさうに飛び廻つてゐる　引つきりなしに掛つて來る電話應答に係員はシブイ顔をしてウルサさうに「また電話か」などとツブヤイてゐるのも如何にも（四字削除）の時徴を思はしめて微苦笑　葡字新聞がセンスーラにやつて來る　検閲官はムツカシイ顔をして一々嚴重に取調べ　一寸でも政府側に取つて不利な革命報道は遠慮會釋なく片つ端からコルタ　甚だしいのになるとアメリカ電信會社の電報などは全部改めさせたり或ひは記事にならない程やたらにコルタする

□

二時過ぎ日伯の竹内君が來た

日伯紙は革命記事を掲載しないので検閲を受くる必要がないと聞いてゐたが再三呼びに來るので出頭したのだと言つてゐた

間もなく時報紙社長は水野通譯生を連れてやつて來た　ボレチンの問題だ

それに鮫島直哉日倫長

日頃仲のよくない我々六人は圖らずも一ツ部屋に顔を會したのも妙だ

俺の所は何ぞもないと高をくゝつてゐたので外の奴はドンナ面をしてゐるかと見てやると一樣に蒼い顔をしてゐる

我が社々長は平氣だ　何にも惡い事は書いてゐないからだ　煙草を　ポカ／＼やりながら黒石氏の肩をたゝいて「オイ君はもう叛罪人だからね」と茶目つてゐた樣だ

サスガいん險な黒石も戒嚴令下の外國警察　ビクリとしたらしく狼狽して辯明をしきりに試みる

□

四時が鳴つた　先づ黒石時報紙が呼び込まれた

主任の聲は荒々しくガナリ始めた

『戒嚴令下に無檢ゑつで印刷物を發行する事は明かに違法である　況んや革命に關する不穩ビラなど秘密裡に配布するなどゝは何事だ　無檢ゑつで一切の印刷物を出してはならぬと禁じてあるのがお前には判らぬのか　アーン』

泡を飛ばしてドナリ散らしてゐる樣子だ

隣に腰かけてゐた日伯紙の竹内君のモ、をコツント　ツ、イて

『ヴォツセの所では無檢ゑつで既に發行したのだからやられるぞ』と

オドしてやると奴　ニガ虫をかみ潰したやうな顔をしてゐやがつた

□

待つこと四時間半　漸く我が社の番だ

検ゑつ室に這入つて行く　主任は氣の毒なやうに時局心痛の面持ちで　昨日と違つて非常に氣嫌は悪るそうだ

カベサがピラしてゐるのか

お前はエンパステーラを喰つた日伯かと聞く

机上は邦字新聞でコダ／＼になつてゐる

「ノーン　俺は南米新報だ」

と言つてやると　漸く昨日提出して置いた本紙を出して隣りの助手に

「飜譯が間違つてゐないか調べろ」と命じた

助手君かしこまつて　南米新報と飜譯をつき合せて檢ゑつし初めた　コヤツ日本語が解らぬクセに生意氣だと注意してゐると檢ゑつといふも形式だけだ　これなら大丈夫と思つてゐると案の上「發行して良し」と言つたので喜び勇んで外に出た

□

他の連中は末だ外に出る事を許されぬやうだ

發行を許されて歸社したものゝ社説「政爭と革命」の飜譯を出してゐない

あの時　時局のコンメンタリオはいけないと言つてゐたからツイするとやられるかも知れないと思つたので　當分四十號は發行しない事にしてゐた　例のパンフレットに就ては　黒石のカラクリだと思つてゐたが　今日黒石が警察に呼び出されてヒドイお目玉を頂戴してゐる所を見ると全然問題は性質が違つてゐる樣だ

□

午後九時警察から又もや電話がかゝつて來て直に出頭せよと不嫌氣そうな聲だ

社長が留守だと言つても聞かぬ午前二時迄にドウあつても出頭しろときつい達しだ

日伯竹内君は一寸とした說教を聞かされただけで無難だつた模樣

黒石時報紙と鮫島氏は大分油を絞られた樣子でジヤンタも食べず夜の十時迄拘束されて體裁のいゝプレゾ同樣に取扱はれたやうだ

彼等はソレダケ悪いことをしたのだから天罰だ　奴等が警察當局の反日的感情を抱かしめるやうなことをやつて呉れたればこそ我が社もおかげで冷い眼で見られていゝ災難だ

ドウセお說教に違ひないと腹に度胸を定めて　ビールをウント呑んで夜中の二時頃　社說の飜譯を持つて社長と共に出頭した　また待たす

警察といふものは日本でも同じだが何故時間の觀念がないのだらうと癪に障る事夥だしい　椅子に腰かけてウト／＼としてゐると呼び出しが來た

何うなるかと思ふと急に眠氣も覺めて檢ゑつ室に這入つて行つた

彼は先づ第一に質問した

「何故本官の命を叛いて全部飜譯して來ぬか　そして何故此の大切な論說の飜譯を提出しなかつたのか」

『時間がなかつたから』

來たな―●案じてゐた問題だと正直にブツ放す

「それなら何故先刻言はぬか　本官を何んと心得る　本官を盲と思つてゐるのか　本官はこれをほん譯さしてあるから讀んで見ろ」と

先づ瞻玉を抜く積りでか　大聲を上げてガナリ立てる

受け取つて　誰が御丁嚀にも譯して呉れたのかと　讀んで見る　なか／＼ウマク譯してある

「間違つた所はないか」

と尋ねるから

「ムイト　ベン　が然し大變誤譯してゐるところが二三ケ所ある」

と辯明を試みたが聞き入れぬ

僕はこの飜譯を讀んだときすぐ　如何に金儲だとは云へ馬鹿正直にこんな仕事をして置きながら默つて知らぬ顔をしてゐるウジ虫が誰であるか直感的に察せられた　○○だ

「此の時局を前に此のやうな論說を書くとは以ての外だ　本政府を馬鹿にしてゐる　ノーン　エ　プリンカディイラ」と

テーブルを叩いてドナリ散らす　この時はもう駄目だと覺悟してゐたので

「大きな事を云ふてゐても腹の中では逃げ出す算段をしてゐるのだらう」

と一人腹でセゝラ笑ひ

□

平常ならウント突込む事も出來るが何分目下は戰時狀態だ　ウツカリロを滑らしてプレゾにでもなつたらつまらないと思ふて何事もシン　セエニヨールと神妙に言つて除ける

「この記事を此の際發表すること罷りならぬ　今回は外國人であるから許すが次にもう一度このやうな記事を書くとシヤドレスだぞ」

とオドシ付けられたので　心の中では（二十三字削除）と思ひながらも閉口したと云ふ風をしておとなしく外に出だ

何と云ふ變りかただ

昨日面會した時には非常に優さしく思へたのに今日は　頭からボロクソだ　是れはテツキリ色々な問題が生じて來たので　警察當局では大變排日感になつてゐるらしい

我が社長に對しても、、お前は共產主義者だ？、、、と言つたところから見ると本社に對しての彈壓も、、、

□

確かに「パンフレット問題」にしろ「共產主義の新聞」だと思ふに至るまでには裏面に邦人社會の擾亂を喜ぶよくない奴があるに違ひない

冷い夜風を疲れた体に受けながらヒツソリカンと寢靜つたウシミツの時刻　青白い街燈に黒つぽく反映してゐるアスファルトの道ろを見詰め乍ら時々惡寒に襲はれつゝ歸社

兎にも角にも只今の所では事件は益々迷宮に入る？

---

# 白い珈琲の花

プレジヨン三番小學校

高一　土居幸信

一

はたけにさいた
　しろいはな
しろい／＼
　まつしろい
かわいゝはなが
　さきました
あさひをあびた
　はなばなは
なんともいへぬ
　うつくしさ

二

ひとめにみゐる
　うね／＼よ
カフエザールは一めんに
　ゆきがふつたか
　まつしろだ
みればきれいだ
　どのはなも
なんとにほいが
　することよ
あすもきれいに
　さくでせう

四年　川上千代子

一

白い／＼カフエーの花が
青いカフエの葉のかげに
かはいゝ／＼かほをして
私を見ながらわらつてる

二

小鳥は朝に早くから
ちろり／＼とないてゐる
カフエの花はうれしそう
小鳥も晩まであそんでる

三

私が前をとほるとき
いつもきれいな姿して
しろいおかほのはな／＼は
妾にあいさつしてゐます

六年　中垣愛人

一

しろいしろい
まつしろい、、、
私が學校にくるときに
私におはよういつてゐる
青い葉のあひだから
白いおかほをだしてゐる

二

カフエの花のよいにほい
家のまへにさいてゐる
昨日も今日もさきました
ことりたちはよろこんで
カフエの技に
とまつてないてゐる

---

新傾向

# 雨窓春景

不鳴樓

△羽蟻が巣立つてホロ／＼
△雨が降つて來た
△蜜かんの花に蜜蜂のうなり聞いてゐる
△木々の若芽が晴れ間の日光吸つてゐる
△遠鳴がしてまだ降りそうな空だ新聞を讀む
△若草食むでるパストの馬が濡れてゐる
△雨の晴れ間をまぶしい陽が射したりする
△雨に煙つた町空で葬式の行列が通る
△母鷄がピントを連れて水溜りへ出た
△葉裏かえしたマモナの風で飛んでる燕
△野鳩が鳴いて涼しい風が吹き出した窓

Sociedade Colonizadora do Brasil Ltd.
Rua Bôa Vista, 11 - 8.º Andar.
Tel. 2-1342 – Telg. Ijurengo
CAIXA POSTAL 2975 – SÃO PAULO

ノロエステ線チエテ移住地　四万七千アルクールス
ソロカバナ線バストス移住地　一万三千アルケールス

双方共原始林の處女地帶、地味肥沃無比、珈琲其他雜作に好適今が絶好の機會です。地價アルケール七百ミル毎十アルケールに付一コント二百ミルを前納すれば殘餘は六ケ年の賦拂、間作物で容易く拂つてゆけます
移住地には日本人醫師、藥劑師も居り病院、學校、製材所、製米所其他の設備が完全してゐますから入植後の衞生、子弟の教育等に就いては少しも心配ありません
尚詳細は組合本部又は移住地へ御照會下さい

有限責任ブラジル拓植組合

MOVEIS
家具はカーザ東京へ
受賞數回　邦人家具商の古参
CASA TOKIO
RUA STA. EPHIGENIA, 11-A
TEL. 4-6487 CAIXA 1005

Armazem Seccos e Molhados
N.UEHARA
Largo 7 de Setembro No.16 Tel.1804
SANTOS
農産物仲買委託販賣
上原商店

ゼエツリーナ町で
親切本位の
日本人宿は
山下藤太郎
商店

バウルー
日本旅館
冲山心平
バウルー驛前

希望社
ブラジル聯盟
セントラル線イタケーラ驛
[illegible]

PHARMACIA
TABATINGUERA
Rua Tabatinguera, 2
Caixa-Postal, 2625 Tel. 2-6745
São Paulo

各種醫藥製劑
内外各國有名なる製藥會社の製品、醫藥、衞生材料、醫療器具一切
△調劑は正確　迅速　丁寧▽
日本人諸氏の御便宜を計り奥地よりの御註文にも應じます
（御手紙は日本文にて願ひます）
聖市タバチンゲーラ街二番（日本人街入口）
日本藥局
郵函　二六二五
電話　二―六七四五

珈琲精撰所
精米所
安瀬商店
アグア・リンパ殖民地内
アラサツーバ倉庫　事務所
北西線アラサツーバ驛
郵函……二〇八　電話……五

◎◎◎◎◎
日本品新着
御案内
總ての食料品は新鮮で美味で珍らしいと云ふ事に於て食慾をそゝるものです　そして値段の安い事が家庭經濟上必要なる一項目であります
今度ラプラタ丸積で是等あらゆる條件を具備した弊店特撰日本食料品（乾物　干魚　鑵詰　花あられ其他）が入荷致しました
是等母國食料品を御愛用下さいます樣御願ひ致します
聖市
中矢商店
電話　二一二〇七
郵函　二九九五